復興期し知恵結集

宮城県、専門家会議設置へ

座長に元東大総長小宮山氏

宮城県は、東日本大震災の復興計画策定に向けて、「県復興計画策定会議」（仮称）を設置する方針を固めた。座長に元東大総長で三菱総研（本社東京）理事長の小宮山宏氏（68）が就任する。今週中にプロジェクトチームを発足させ、月内に初会合を開催し、全面積の3分の1を失った沿岸部の復興計画の骨格を6月までに作成する。

宮城県は、東日本大震災の発生から明日で1カ月となる。東松島市では、津波で陸に打ち上げられた大型船が、がれきと化した街に放置されている。復興は緒に就いたばかり。猛威を振るった「黒い波」の爪跡がいまだ、まざまざと見える

＝8日午前、東松島市大曲

がれきの街 1カ月

東松島

河北新報

4月10日（日）

河北新報社
仙台市青葉区木町通1-2-28
（郵便番号 980-8690）

「東」は、未来

電話（022）211
読者相談室 1447
編集 部1304
スポーツ部1330 営業 部1318
夕刊編集部1146 営業管理部1312
生活文化部1132 業務 部1332
総合案内（022）211-1111
ご購読申し込みは
0120-89-3746

2面 「仮設年内3万戸を」
2面 店舗や工場 国が整備へ
3面 生産者 作る責任全う
4面 座談会 大震災と日本
5面 応援メッセージ
11面 生活関連情報

東日本大震災関連記事

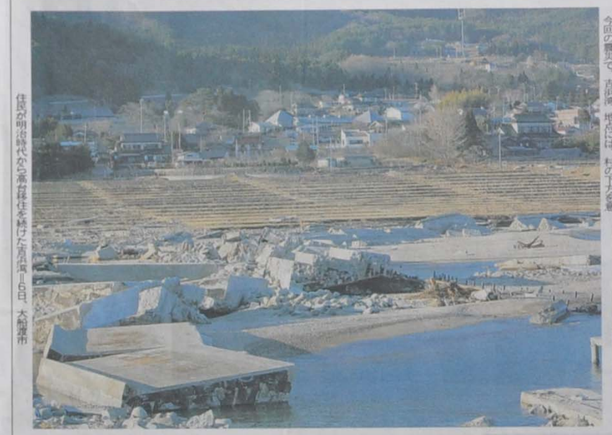
24面 12人になくなった方々
23面 被災44万戸 再開施設決定
22面 『漂流 避難見え ず将来
21面 陸前高田 仮設入居開始
20面 試練 決して諦めない
12人になくなった方々 津波 先人の警鐘は

「明治三陸」で被害 高台に集団移住
大船渡・吉浜湾
防潮堤 過信も
「教訓次世代へ」誓う
宮古・田老地区
宮古・姉吉地区
「此処より下に家を建てるな」
石碑の教え 守る
仙台・霞目
「浪分神社」の伝承途絶える
明治三陸大津波
昭和三陸大津波
おことわり

津波 先人の警鐘 生かされたか

「明治三陸」で被害 高台に集団移住

大船渡・吉浜湾



住民が明治時代から高台移住を続けた吉浜（1日、大船渡市）

宮古・田老地区

防潮堤 過信も

「教訓次世代へ」誓う

宮古・姉吉地区

「此処より下に家を建てるな」

石碑の教え 守る

「此処（ここ）より下に家を建てるな」と警鐘を鳴らす記念碑＝宮古市重茂の姉吉地区

仙台・霞目

「浪分神社」の伝承途絶える

明治三陸大津波

昭和三陸大津波

おことわり

東日本大震災の犠牲者本日判明分は特別紙面にまとめました。一部区の配達漏れが発生する場合がありますことお詫びします。

河北新報社

河北春秋

汚染水放出 最終段階

福島 第1高濃度 きょうから移送

余震、死者3人に

東北 けが283人

県土復興への第一歩

29日「キックオフデー」

宮城知事方針

再生へ 心ひとつに

宮城死者7669人

東日本大震災の死者は警察庁の9日午後9時現在のまとめで、宮城、岩手、福島の3県で1万6821遺体の身元が確認され、1万5945人となった。行方不明者は宮城、岩手、福島を含む県内の7万4822人で、不明者の家族は2万3836人に上っている。

死者数（行方不明者数）	
宮城	7869人（6578人）
岩手	3783人（4804人）
福島	1201人（3535人）
全国	12915人（14921人）

（9日現在・警察庁まとめ）

（第三種郵便物認可）　河北新報　平成23年（2011年）4月10日（日曜日）社会　16版（24）